

及

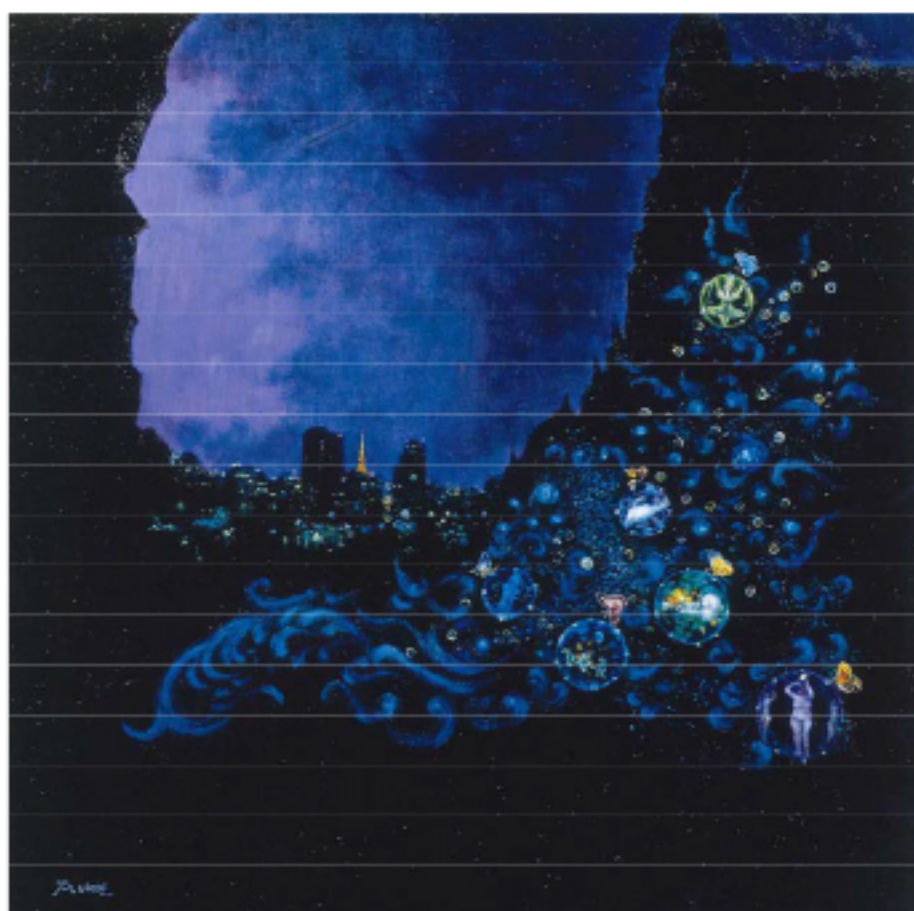
鷹山宇一記念美術館友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

平成28年3月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



《郷愁都市》1998年、キャンパスに油彩、1998年春季二科展

幻想世界の在りか

年齢90を迎えようという時期に『郷愁都市』『縹渺夢幻』に代表される、青の作品群が現出する。シュルレアリスム期以降60年近く用いた続けた構図は、その境界が不明瞭となり、妻、娘たち、蝶、花といった前面に配されていたモチーフは、象徴的に気泡に包まれ、画面全体を包む青の世界をたゆたっている。遊蝶花シリーズの夜明け空の描写に多く見られ、この作品群で画面を覆い尽くすまでになった青は、『あざみの野』では草木であり、『小さな世界』では海であり、『風』の象徴でもあった。さらにそれは、10代の鷹山が見た七戸の風景にも認めることができる。

一貫して全ての作品の深淵に窺える、現実世界を真つ向にする鷹山の視座が揺るがなかったことは、生涯追求めた美しい「浪漫的幻想世界」が、日常を離れた別の世界にあるのではなく、日常に内包される世界であろうことを示唆しているように思える。

「浪漫的幻想世界」をはじめとする鷹山の創造の霊的根源に、故郷・七戸の記憶が大きく関わっていることは、鷹山自身が強く自覚していることであつた。とすると、あなたが住んでいる七戸で、あなたが住んでいる町で、今日もあなたの周りではあなた自身を取り巻く美しい幻想世界が広がろうとしていることは、どうも間違いないようだ。それは、鷹山が独自の幻想世界を創造したように、あなた自身が思う美しさが詰まった世界なのだろう。

老齢画家となつた鷹山の幻想世界を構成しているものは言わば「懐かしさ」であり、画家自身の視点は、いささか遠くにあるように感じられるのである。

(学芸員 清水)

七戸の春は鶴太郎展

「夜桜」からはじまります。

片岡鶴太郎展 四季彩花

EXHIBITION of KATAOKA TSURUTARO

4月23日 土 → 6月26日 日

高校卒業後、片岡鶴八に入門、「東宝名人会」「浅草演芸場」で芸人として出発した片岡鶴太郎氏の人生は幾多の紆余曲折を経て現在に至っています。

研鑽に励み、「日本アカデミー賞最優秀助演男優賞」をはじめ、数多くの受賞歴を持ち、芸人から日本を代表する役者のひとりとして活躍し、その間にはボクサーとして心身ともに鍛え抜き、精神性を高めています。



《西瓜カブトムシ》2012

画人としては齢四十から始めた画業が二十年の時を経て昨年は還暦展を開催しています。また、横綱白鵬関の化粧まわし作成にはデザイナーとして参加、その化粧まわしは伊勢神宮で奉納・披露されました。二〇一五年、書の芥川賞を称される「手嶋右卿賞」を受賞して、書家としても名を馳せている片岡鶴太郎氏。



《金太郎》2015

岐路に立つたび多芸多才の能力を発揮していく「モウさん」(テレビ終着駅シリーズ・牛尾刑事の愛称)の魅力に引き付けられた私たちは、「片岡鶴太郎」の全貌を検証していきたいと思えます。

本展は、多彩な六十星霜の人生が育てた、その心に奏でる「日本の四季」を展覧いたします。



《太秋可喜 利平久利》2015

《雪椿》2008

美しくも儚く一瞬で過ぎ去って行く四季の移ろいに思いを込めた数々の作品を中心に、高さ三メートルにも及ぶ連作《四季彩花》など約六十点の秀作によって構成し、片岡鶴太郎幻想の世界展を作り上げていきます。(館長 鷹山ひばり)



画像提供：近代映画社

芸術家

片岡鶴太郎

の軌跡を辿る！

鶴太郎美術館の

ご紹介！



テレビでも大活躍の片岡鶴太郎氏はおなじみですね。でも、みなさんは鶴太郎氏の個人美術館が日本には4つもあることをご存知でしたか？絵画や陶芸など、芸術家としても多彩な表現を展開する鶴太郎氏。ぜひお近くに行かれる際はお立ち寄りください！

草津片岡鶴太郎美術館

草津温泉にある草津片岡鶴太郎美術館。展示作品は150点、収蔵作品は300点。

■所在地

群馬県吾妻郡草津町草津479

■電話番号

0279-88-1011

■開館時間

8:00～18:00 年中無休



山中片岡鶴太郎工藝館

絵画や山中塗作品等多数展示。

■所在地

石川県加賀市山中温泉湯の出町

26-3

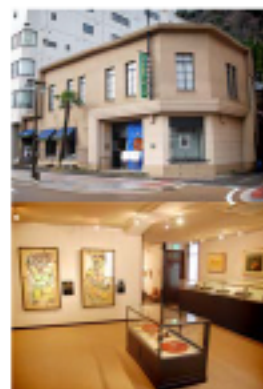
■電話番号

0761-78-1225

■開館時間



9:00～18:00 年中無休



福島片岡鶴太郎美術庭園

初期の作品から、繊細な陶器の作品など約70点を展示。

■所在地

福島県福島市飯坂町銀杏1-13

■電話番号

024-542-0555

■開館時間

9:00～18:00 年中無休



伊万里片岡鶴太郎工藝館

陶磁器を中心に墨彩画など約50点を展示。

■所在地

佐賀伊万里市大川内町大川内山

■電話番号

0955-22-3080

■開館時間

9:30～17:00 年中無休

トークショー・サイン会のごあんない

- サイン会 -

5月5日(祝)

①11時～②14時～

各回先着100名様
鶴太郎氏が対象の画集
にサインいたします。

友の会限定

- トークショー -

5月4日(祝)

18:30～

友の会会員限定！
先着100名様、入場無料。
(同行者も入場できます。)

お問合せ／鷹山宇一記念美術館

平成28年度

特別展のご案内

片岡鶴太郎展 四季彩花

■会期／4月23日(土)～

6月26日(日)

■会期中無休

■イベント／友の会限定トーク
 ショー5月4日(祝)、サイン
 会5月5日(祝)

高校卒業後片岡鶴八に入門、東宝名人会、浅草演芸場で芸人として出発した鶴太郎氏の人生は、岐路に立つたたび多芸多才の能力を発揮しはじめます。本展は、幾多の険難を乗り越え多彩な60星霜の人生が育てた、その心に奏でる「日本の四季」を展覧いたします。美しくも儚く一瞬で過ぎ去って行く四季の移ろいに思いを込めた数々の作品をはじめ、高さ3メートルにも及ぶ連作「四季彩花」など約60点によって構成し、片岡鶴太郎幻想の世界展をつくりあげています。

模型のタミヤが

美術館にやってきた展

■会期／8月6日(土)～

9月4日(日)

■会期中無休

■イベント／鋭意企画中!

(株)タミヤはミニ四駆などを生み出し動く模型の楽しさをその時代の多感な子どもたちに提供し「模型のタミヤ」の名を盤石の重みで固めていきます。焦土と化し荒廃した戦後の日本はテレビもゲームもなく子どもたちはただ空き地で遊びまわっていました。そのような時代に模型玩具の登場はどれほど子どもや大人に夢や希望を与えたかを考える時、戦後の日本文化の原点のひとつでもある「模型文化」の魅力を歴史とともにたどりながら検証していきたいと思えます。

草乃しずかの世界展

■会期／9月10日(土)～

10月30日(日)

■会期中無休

■イベント／お呈茶会10月2

日(日)

人の一生は自然と同じく移ろいやすく、目に見えない大きな運命に操られているかのように感じた東日本大震災。時代の流れと共に草乃しずか氏の刺繍人生も40星霜の刻が過ぎていきました。このたび「ひと針に祈りをこめて40年」と題して創作された美しい日本刺繍の数々の作品たちが一堂に会します。儚くも美しく瞬く間に消えて去っていく自然美の確かさを日本刺繍という日本の工芸文化から是非紹介したい展覧会としました。

第16回鷹山賞児童作品展

■会期／11月13日(日)～

平成29年1月22日(日)

■月曜、年末年始休館

■イベント／表彰式11月12

日(土)

第76回国際写真サロン展

■会期／平成29年3月18日

(土)～4月2日(日)

■月曜休館

館内キレイに
リニューアル!

この度鷹山宇一記念美術館は、館内設備を大幅に改装しております!開館から20年を超えましたが、いろんなところがとてもキレイになりましたよ!トイレなんて、人が入れば勝手にフタが開いちやうんです。ご来館の際はぜひそちらにも注目してみてくださいね!





今年度7月より毎月開催してきた子ども企画「タカビキッズ」が、2月の実施をもって7回の全日程を終了いたしました。「はじめての美術館体験」をテーマに、美術館あそびという新しい概念のもとにはじめた本企画でしたが、美術に興味がある／ないに関わらず、県内各地からのべ400人も子どもたちが参加してくれました。また、七戸や青森から各回たくさんさんのボランティアサポーターさんがきてくださり、皆様方の多大なるご尽力のおかげで、大きな事故もなく、大盛況のうちに終了することができました。ここではいくつかの企画をご紹介します。

①「カラフルくももの巢」

■実施日／7月25日(土)



好きな色のビニールヒモをもって走り回り、回収するだけの企画。ビニールの色の重なりや草の湿り気、風のバサバサなどを発見しました。

②「色水鉄砲大作戦」

■実施日／8月29日(土)



タカビキッズといえばこれ！白い大きなTシャツをきて、色と

りどりの水が入った水鉄砲で戦いました。100人も参加者が戦い、最後には綺麗に染まったTシャツをみんなで見賞しました。

⑥「タカビ野菜研究所」

■実施日／12月23日(祝)



八戸在住・非具象造形家の伊藤二子さんとのコラボ企画。自然物の美のルールを発見することをテーマに、野菜を色んな角度からよく見つめる企画でした。

美術館の鑑賞にしる、制作にしる、すべては「モノをよくみる」事から始まります。色や形や匂いの変化に、気がついたら気づいてしまっているこの経験が、生き抜く力獲得のための一助となる事を願っています。ご協力ありがとうございました！

退職のご挨拶

学芸員 清水 輝大

私事ながら、この度、3月末日をもって鷹山宇一記念美術館を退職させていただくこととなりました。在任中は、「県南コレクション」展第2期特集伊藤二子「展」をスタートとして、七戸十和田地区の文化の歴史を勉強できた「多田瓊林」展、七戸の長い歴史と生活を深く知る事ができた「石井キク」展と、展覧会企画を通して、七戸や青森県南部地方をたくさん勉強させていただきました。また最近では、いただきました。また最近では、タカビキッズの企画で知り合った地域の子どもたちが、親を得意げに美術館に案内してくるなんてこともあり、七戸の皆様にお助けられ、勇気付けられ、勉強させていただいた、とても濃い1年でした。七戸の街でのこの時間は、これからの私自身の活動の核ともなる偉大なものです。何より皆様方の応援に支えられ、齢32の独身男は生かされていきました。心の一番底から、ありがとうございました。

美術館日誌

◇1月◇

1日(金)・2日(土)年始休館 10
 日(日)ワークショップ・パステル画でカレンダー①(講師・佐伯氏)
 15日(金)七戸養護学校作品展(イオンモール下田・清水学芸員)
 17日(日)鷹山賞最終日 18日(月)4月上旬予定・館内整備休館(展示室内他) 20日(水)〜24日(日)特別展打合(東京出張・鷹山館長)
 21日(木)八戸〜三沢出張・鷹山賞作品返却三沢周辺(清水学芸員)
 22日(金)鷹山賞作品返却(七戸十和田周辺・織川教育普及補助員・成田事務員) 23日(土)タカビキッズ天間東小(清水学芸員) 24日(日)七彩会 25日(月)石井キク作品撮影AM10時(清水学芸員)

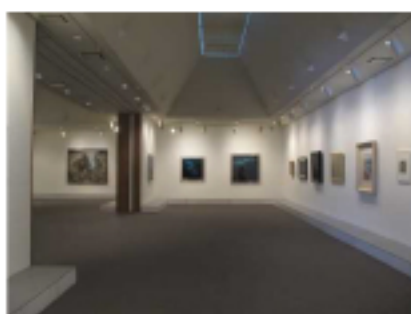
◇2月◇

3日(水)アスベスト検査 6日(土)理事会 9日(火)特別展打合タミヤ担当者様来館(鷹山館長) 10日(水)非常灯修理 11日(木)はつち5周年セレモニー出席(鷹山館長・織川教育普及補助員) 12日(金)トイレ建具工事開始 14日ワークショップ・パステル画でカレンダー②(講師・佐伯氏) 16日(火)・17日(水)展示替

18日(木)東奥日報旅行センター名来館 19日(金)カウンター塗装工事開始 20日(土)タカビキッズ城南小(清水学芸員) 21日(日)七彩会 23日(火)常設展開始(一部閉館)・ナブコシステム保守点検 24日(水)ランプ館工事打合(まこと建設) 27日(土)タカビキッズ(清水学芸員)

◇3月◇

1日(火)絵馬リスト確認 2日(水)絵馬懇談会(所有者による確認) 5日(土)〜15日(火)予定・館内整備休館(ランプ館開始) 12日(土)理事会 13日(日)ワークショップ・パステル画でカレンダー③ 16日(水)常設展開始 19日(土)七彩会 26日(土)評議委員会



現在開催中の常設展の様子

パステル画で カレンダーづくり

全3回開催のパステル画教室。講師に佐伯知美氏をお迎えして開催しました。1月から始まる普通の形式ではなく年度始まりの4月から始まるカレンダーを、自分の描いたパステル画を使って作成します。

1月10日(日)は、6名の方が参加して下さいました。1回目は4月〜7月。春から初夏の風景を思い浮かべながらのパステル画の作成です。パステルを削り粉状にし、擦り色を付けていきます。葉っぱの形等に切り抜いた型紙を使って練り消しで色を抜いたり。パステルで色を付けたら、優しい雰囲気作品に仕上がりました。



2月14日(日)は、8名の方が参加して下さいました。2回目は8月〜11月。今回は下絵を用紙に重



ね、輪郭をボールペンで強く塗り用紙を固ませパステルで擦り輪郭が浮かび上がるといった技法でした。夏の濃い緑から秋の紅葉の色合いをツルや木の実等の絵柄で表現しました。線がいつぱい入り組んでいた方が味のある作品に仕上がると、みなさんとても細かく時間いっぱい集中して綺麗な作品を仕上げておりました。



次回がパステル画教室3回目。12月〜翌年3月。雪が降り辺りが白くなり正月に用いる南天などの赤い実を想像してみたり。3月は桃の花の色を思い浮かべたり。どのような技法を用いてどんなイメージの作品になるのか。そしてみなさんの2016年度のカレンダーがどのよう仕上がるのかとても楽しみです。

彫刻家鈴木正治の 作品を訪ねて

—石彫・木彫・水墨画—

本号から連載致します。

ご期待下さい！

十和田市 小川展子

彫刻家鈴木正治(1919-2008)は青森市出身の作家で、中央画壇に出ることなく、生涯をほぼ青森で過ごし、その風土の中で誠実に多くの作品を制作しました。

私は1980年代、アートディレクターの北川フラム氏との関わりの中で粟津深や菅井汲などの現代美術作品を七戸町で展示・紹介していたことがあり、鈴木さんは若い彫刻家たちを伴ってしばしば訪れたことから、親しくさせて頂きました。

鈴木さんの作品に共通して感じることは、人を和ませる温かさがあり、おちかかユーモアに溢れ、そしてモダンなことです。本人の手柄や創



「ウゴカズ」の前で 鈴木正治

1982年 七戸町 青岩寺



「わ」

「見るだけじゃなく触って楽しめる彫刻を作りたい」 鈴木正治 1989年

作への姿勢とともにそういった要素が見る者の心をつかみ、今なお多くのファンが彼を慕っています。

鈴木さんの作品は青森市内に多く見られ、青森県総合社会教育センターにある「わ」(石彫)、浅虫水族館の「遊泳の輪」(石彫)などが代表的なものでしょう。また、和菓子のおきな屋の包装紙のデザインや青森市立古川小学校の門柱も制作し、他にも青森市内の病院や飲食店、浅虫温泉の旅館の内外に石彫や水墨画、木彫がたくさんありますので、知らず知らずのうちに目にしている方も多いかと思えます。

青森市外では、弘前市の森のイスキア、七戸町青岩寺の境内と三沢市の星野リゾート青森屋(旧古牧温泉)のカップバ沼にも多数の石彫を創作しています。次号は七戸町と三沢市の鈴木作品をご紹介します。

「加賀会席と金沢二十一世 紀美術館鑑賞の旅」の紀行文 パート2をご紹介します。

加賀百万石の城下町は

スアキだらた

八戸市 田名部妙子

今年三月に開業した北陸新幹線「かがやき」に乗り金沢へ。雨だった。「弁当忘れても笠忘れるな」と言われるぐらい雨の多い金沢。車窓から見た駅のシンボル鼓門が見えた。「わあ！ おっきい」

「おもてなしドームと呼ばれ、最初のガラスドームです。傘をささなくともよい、おもてなしの心を表している。鼓門は能楽の鼓をモチーフとして世界で最も美しい駅、十四選に日本で唯一選ばれたのでございませう」とガイドさんか説ら明。さらに冬の風物詩の唐崎松の雪吊を眺めながら、市立安江工芸館に着いた。金箔にする加工技術や全国生産量の九十九%を占めているとは、驚きでした。尾山神社、卯辰山を巡り、風情あふれる歴史的ひがし茶屋街にどしどし降りる雨の中降車した。濡れたくないので、まずはカフェに入った。



金沢21世紀
美術館にて

薄暗く格子の出窓、レトロでお洒落な雰囲気の中で、金粉入りのコーヒーと和菓子をお楽しみいただき、至福のひとときを過ごした。夕食は、解禁となったばかりの加能ガニと能登牛、地酒に舌鼓。しつかり食べて飲んでお腹も大満足でした。

二日目も雨。

主な観光名所である金沢公園、赤く色づいた兼六園を歩き、金沢市の中心部に位置する二十一世紀美術館へ入った。ぐるっと回ると裏と表のないガラスサークルで開放感が素晴らしい。展示室とカフェレストランは一階、壁のないエレベーターで降りると地下一階もあった。有名な「スイミングプール」は改修工事中。残念。だが、気を取り直し、ザ・コンテンポラリー展の有料ゾーンへ。特に印象的だったのが、巨大な赤色カーテン様の物。よく見ると小さな包み紙と布の組み合わせで手作りだろうか？細やかな作業を想像すると驚きである。夕食は楽しみにしていた加賀会席。料亭の中に入ると正面に金屏風があり、全員そろってハイチーイズ。美しい器に盛り付けられた板前さんの愛情こもった一皿一皿は、実に美味かった。

三日目も雨模様。

長町武家屋敷跡の散策後、市民の台所と言われる近江町市場で、おすすめ「のどぐろ」を発送し、幸運にも限定十食のにぎり寿司も食べることもでき、大満足だった。最後に雨の三日間であったが、むしろ雨によって一層情緒あふれるステキな金沢を味わい感情豊かになって帰って来ました。皆様ありがとうございました。

「箱根アートめぐり！！3日間」

平成28年度友の会秋の研修旅行をご案内致します。

会員の皆様より要望の高い海外研修旅行ですが、役員会における協議の結果、昨今の世界情勢に鑑み、残念ながら当分の間、海外研修旅行の実施を見合わせる事となりました。

本年度は、多くの美術館が点在し、アートが熱い神奈川県箱根町の美術館を巡る研修旅行を企画しました。



ポーラ美術館



成川美術館より
芦ノ湖を望む

平成28年度 秋の研修旅行予告

日時：平成28年10月～11月(未定)

研修先：神奈川県箱根町・東京都内

参加費：98,000円以内

募集人員：先着20名(最少催行人員は15名)

申込：6月発行の会報第83号・チラシで募集

申込先・問い合わせ先：鷹山宇一記念美術館

研修行程(予定)

- 1日目：東北新幹線～東京經由
箱根芦ノ湖成川美術館～
海賊遊覧船～富士屋ホテル泊
- 2日目：貸切バス利用～ポーラ美術館、
彫刻の森美術館、ラック美術館、
星の王子様ミュージアム等の美術館
研修先を参加者と協議して決定
～東京都内ホテル泊
- 3日目：都内フリータイム～東北新幹線
※詳細日程は参加者と協議

新規会員入会お誘いのお願いと

友の会会員登録更新のお願い

平成27年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。新年度も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と郵便振替により随時行っておりますので、会員各位のお力添えをお願い致します。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2～3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

- 特典
①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引き

○特別会員

- 特典
①一般会員特典に加えて
②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

- 特典
①一般会員特典に加えて
②新規加入の方に画集1冊贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

書籍のご案内

★鷹山宇一画集

・一冊二千円＋消費税
(会員 千八百円＋消費税)

・送料 実費

★会報合本Ⅱ

・一冊 千円

・送料 実費

・申込先
鷹山宇一記念美術館

*上：画集、下：合本表紙



編集後記

★会報第82号をお届けします。

本年度も会報作成に当たり会員各位のご理解とご協力を頂き誠に有難う御座いました。今後とも紀行文、旅行記等をお寄せ下さるようお願い申し上げます。
(照井壽一)